

# 地理歴史（世界史A）

履修単位	2 単位	2 年	学科・コース	商業科	区分	必修	・ 選択
------	------	-----	--------	-----	----	----	------

## 1 学習内容と学習目標

1. 世界の歴史の展開を我が国の歴史と関連付けながら総合的に考えます。
2. 世界の歴史を学ぶことで、現代の人類が直面する課題について、さまざまな観点から考察します。
3. 歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養います。

## 2 教材等

使用教科書：新版 世界史A 新訂版（実教出版）  
 副教材：新版 世界史A 新訂版 演習ノート（実教出版）  
 NEW 流れがよくわかる世界史（中部日本教育文化会）

## 3 年間学習計画

学 期	単元名	月	学 習 の ね ら い と テ ー マ	備 考 (特記事項や他の科目等との関連等)	考 査 範 囲
一  学  期	第Ⅰ部 ユーラシアの諸 文明	4 ・ 5	<b>第1章 ユーラシアの諸文明と交流</b> ⇒各文明の特徴と交流を大まかに学ぶ 1 東アジア世界の形成 ～ 13 ヨーロッパ世界の展開 まで	①教科書 ②板書ノート ③課題プリント ④ワークノート から出題します。	中  間
	第Ⅱ部 一体化する世界 と日本	6 ・ 7	<b>第2章 一体化に向かう世界と日本</b> ⇒世界の一体化を学び、日本との繋がりを考察する 14 ルネサンスと宗教改革 ～ 19 近代ヨーロッパと世界貿易		期  末
	《課題・提出物等》 1. 定期考查期間中に授業ノート・プリントの点検をします。 2. 定期考查後に、間違った部分を訂正します。 3. 夏休みの課題を夏季休業明けに提出します。				
	《第1学期の評価方法》 1. 中間・期末考查の成績、ノートなどの提出物、学習活動への参加態度などで行います。 2. 学期全体の評価は定期考查8割、提出物・学習活動への参加状況2割の配分で行います。				
二  学  期	第Ⅱ部 一体化する世界 と日本	9 ・ 10	20 イスラーム王朝の成熟 ～ 22 明から清へ まで <b>第3章 ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動</b> ⇒革命がもたらす社会の変化を考察する 23 産業革命 ～ 37 東アジアの変革 まで	①教科書 ②板書ノート ③課題プリント ④ワークノート から出題します。	中  間
	第Ⅲ部 地球社会と日本	11 ・ 12	<b>第4章 現代世界のあゆみ</b> ⇒2つの世界大戦の原因と結果を多角的に考察する 38 急変する社会 ～ 45 東アジアの民族運動 まで		期  末
	《課題・提出物等》 1. 定期考查期間中に授業ノート・プリントの点検をします。 2. 定期考查後に、間違った部分を訂正します。 3. 冬休みの課題を冬季休業明けに提出します。（3学期の平常点に加味します）				
	《第2学期の評価方法》 1. 中間・期末考查の成績、ノートなどの提出物、学習活動への参加態度などで行います。 2. 学期全体の評価は定期考查8割、提出物・学習活動への参加状況2割の配分で行います。				

三 学 期	第Ⅲ部 地球社会と日本	1	46 世界恐慌とニューディール ～ 50 アジア・太平洋戦争 まで	①教科書 ②板書ノート ③課題プリント ④ワークノート から出題します。	学 年 末
		2 ・ 3	第5章 第二次世界大戦後の世界 ⇒戦後世界と現代社会との繋がりを考察する 51 国際連合と冷戦 ～ 58 21世紀の世界 まで		
学 期	《課題・提出物等》 1. 小単元履修後、小テストを行います。訂正方法については授業で指示します。 2. 定期考査期間中に授業ノート・プリントの点検をします。 3. 定期考査後に、間違った部分を訂正します。				
	《第3学期の評価方法》 1. 学年末考査の成績、ノートなどの提出物、学習活動への参加態度などで行います。 2. 学期全体の評価は定期考査8割、提出物・学習活動への参加状況2割の配分で行います。				
	《補足》 基本的には教科書に即して進めますが、進捗状況や各テーマに応じて「順序を入れ替える」「時間をかけて深める」といった変更が生じます。				

#### 4 評価の観点と評価方法

学習状況は、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「資料活用の技能」及び「知識・理解」の4つの観点から評価します。具体的な評価基準は下の表を参考にしてください。

評 価 の 観 点 と 趣 旨		評 価 方 法
関心・意欲・態度	・世界各地の歴史の展開について、自ら主体的に学ぼうとする。 ・歴史的事実の中に問題点を見つけ、問題解決に主体的に取り組もうとする。	学習活動への参加の状況及び態度 授業プリント・課題プリント この観点で出題した考査問題
思考・判断・表現	・歴史的事象の背景を学び、現代を生きる自分の立場に置き換えて考察できる。 ・歴史の展開について、その時代的背景や政治・経済・社会などの仕組みについて理解し、歴史的考察ができる。	学習活動への参加の状況及び態度 授業プリント・課題プリント この観点で出題した考査問題
資料活用の技能	・さまざまな歴史史料から、時代の特色や変化を読み取ることができる。 ・多様な史料を用いて多面的な考察をし、総合的に論証する。	学習活動への参加の状況及び態度 授業プリント・課題プリント この観点で出題した考査問題
知識・理解	・現代世界の形成過程を理解することとともに、現代における人類の課題について考察する。 ・歴史を考察する基本的な方法を理解し、歴史的な見方や考え方を身につける。	学習活動への参加の状況及び態度 授業プリント・課題プリント この観点で出題した考査問題

#### 5 授業を受ける際の注意事項

1. ともしれば歴史学習というのは、「過去」の事実のみを「知識」として覚えようとすることに重点が置かれがち、つまりは「暗記教科」であると思われがちです。しかし、歴史学習が目指しているものは、現代の世界がどのように形成されてきたかを学習することによって「現在」を見つめ、世界の「未来」をどう創っていくかを考える科目なのです。「過去」の歴史を知れば、決して繰り返してはいけない過ちが数多くあります。だからこそ、よりよい「未来」を創るためにもそういう歴史的事象を考察する必要があるのです。

##### 2. 基本的な学習方法

- “見”……教員と黒板をよく見る。
- “考”……疑問・質問について自分なりに考える。
- “聞”……内容・説明をしっかりと聞く。
- “録”……自分が理解できるようにまとめる。

3. 昨年度学習した地理Aの内容も活かし、現代の世界の国々の国名や位置なども確認していきます。